

『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第49号(2010年2月25日)「中国市場動向2010年1月」



意欲的な消費

輸出主導から「内需主導経済」への転換を目指す中国にとって、「個人消費」の動向は大変重要です。その「個人消費」の動向を見るときに有効なのが、「消費者信頼感指数」です。

消費者信頼感指数は、消費者の現在の所得水準や景況感、また将来の所得水準や景気の先行きなどについての心理状態が反映される指数です。

指数の見方としては、0~200の間の数字を取り、0の場合は消費者が極端に悲観的になっていることを意味し、200の場合は極端に楽観的になっていることを表します。100が中央値ですが、2009年においては、世界各国の中で消費者信頼感指数が中央値を上回っている国はほとんどないようです。しかし、こうした中でも中国は100以上の水準を維持しており、中国内需の好調ぶりを物語っています。

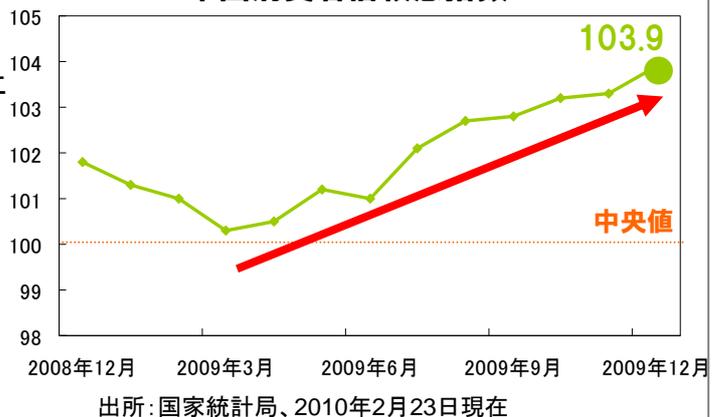
減少する貿易黒字

2009年の世界的な景気悪化は、中国の輸出、輸入へも大きく影響しました。しかし、輸出額の減少に比べ、輸入額の減少が比較的軽微であり、貿易黒字が減少しました。

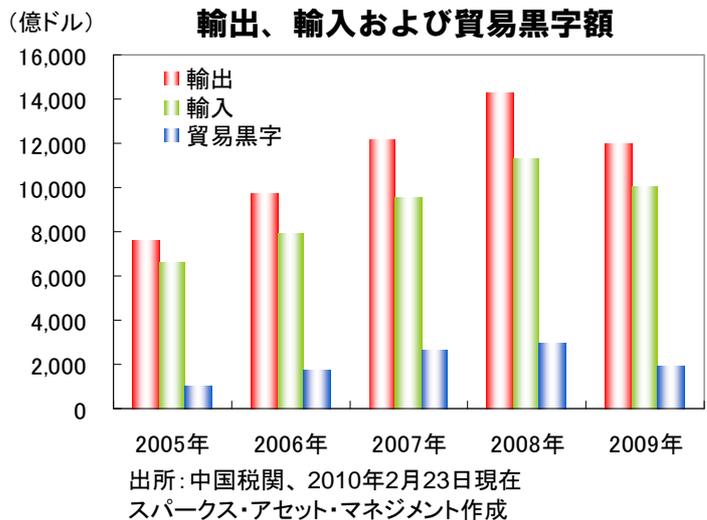
また、回復基調になった2009年12月においては、輸出額の前年同期比が+17.7%に対し、輸入額の前年同期比は+55.9%と力強く回復しております。

輸入の回復は、中国国内個人の消費意欲が高まったことに関連しており、その勢いはしばらく続くと思われます。

中国消費者信頼感指数



輸出、輸入および貿易黒字額



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



旧正月の経済効果

旧正月は中国人にとって一年の中で最も盛大な祝日です。食べきれないくらいの食料品を用意して家族や親戚で集まったり、新しい服を着て挨拶回りをしたりします。また、上司やお世話になった人にお歳暮を贈ったり、親戚の子供にお年玉をあげたり、また大規模な忘年会や新年会を開いたりして、盛大に祝います。

そのため、スーパー、百貨店、レストランなどの小売業やサービス業にとっては、一年で一番の稼ぎ時となります。食品、衣料品、化粧品など幅広いセクターが恩恵を受けることになります。

旧正月といえば、海外にいる中国人が故郷に戻り、家族や親戚と一緒に過ごすことが定番ですが、最近では別の動きも出ているようです。上の表が示しているように、中国では旧正月は一年で最大の長期連休であるため、国内・海外旅行が定着しつつあります。中国国家観光局によると、2009年旧正月連休中、中国国内観光客数は前年比+25%の1億900万人に達したようです。また、所得の増加により、旧正月を海外で過ごす人も増加しています。今年の旧正月には、約700人も中国人団体客が栃木県日光市を訪れ、日光市長自らが先頭に立ち、市を挙げた盛大な歓迎セレモニーで出迎えたようです。

中国：2010年の主要祝祭日予定		
名称	休日	連休数
正月	1月1～3日	3
旧正月	2月13～19日	7
清明節	4月3～5日	3
メーデー	5月1～3日	3
端午節	6月14～16日	3
中秋節	9月22～24日	3
国慶節	10月1～7日	7

出所：新華社、
スパークス・アセット・マネジメント作成

《主要株価推移》（各市場の直近1年間）



出所：FACTSET

（編集後記）旧暦の大みそかの夜、中国では毎年恒例となっている大型娯楽番組「春節聯歡晚会」が放送されます。「中国の紅白歌合戦」とも称される国民的番組ですが、その視聴率は今年なんと96.1%と驚愕の数字を叩き出しています。この数値によれば約13億人が番組を見ているということになります。

（告られタイ）



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。